

三井住友海上火災保険株式会社

広報部 〒101-8011 東京都千代田区神田駿河台 3-9
TEL: 03-3259-3111(代表)
www.ms-ins.com

2022年12月1日

～デジタルガバナンス・コード 2.0に対応する新基準～
経済産業省「DX認定」を取得

MS&ADインシュアランスグループの三井住友海上火災保険株式会社（社長：船曳 真一郎）は、2022年9月に改訂された「デジタルガバナンス・コード 2.0」に対応する「DX認定」を、本日取得しました。

これは、DXのさらなる促進に向けた「デジタル人材の育成・確保」など、当社の積極かつ網羅的な取組みが評価されたものです。

今後も、デジタル変革に継続的に取り組むとともに、MS&ADグループ一体でデジタル技術を活用した社会変化への対応を進めていきます。

1. 制度の概要

DX認定制度^{※1}は、デジタルガバナンス・コード^{※2}に沿った行動に踏み出し、デジタル技術による社会変化へ対応していく準備が整った企業を経済産業大臣が認定するものです。ステークホルダーとの対話に積極的な企業を可視化することで、企業のデジタル変革を促します。



※1：詳細は、情報処理推進機構（IPA）のWebサイトをご覧ください。

<https://www.ipa.go.jp/ikc/info/dxcp.html>

※2：DXに関する企業の自主的取組を促すため、デジタル技術による社会変革を踏まえた経営ビジョンの策定・公表といった経営者に求められる対応を取りまとめたものです。2022年9月改訂版（2.0）では、「デジタル人材の育成・確保」がDX認定の基準に追加されました。

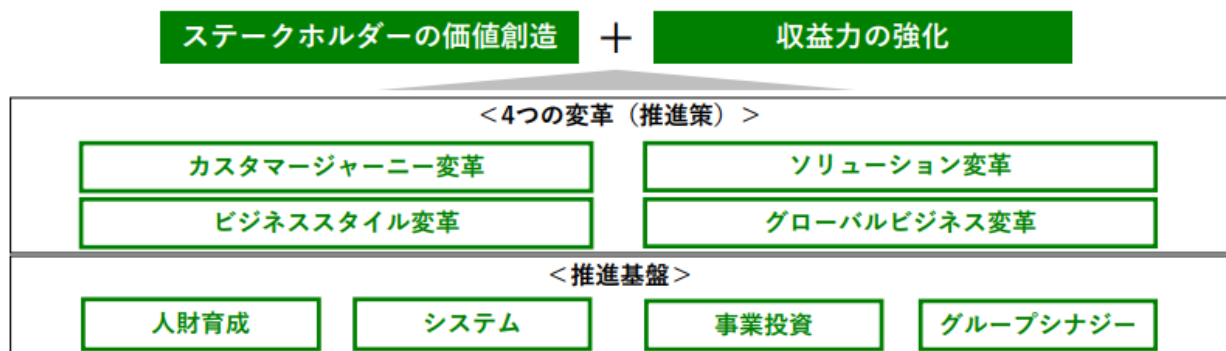
2. 認定のポイント

当社は「中期経営計画（2022-2025）」において、目指す姿を「未来にわたって、世界のリスク・課題の解決でリーダーシップを発揮するイノベーション企業」と定め、その実現に向け、社会と当社のサステナビリティを同時実現する「サステナビリティ・トランスフォーメーション（SX）」を進めています。テクノロジーを活用して新たなビジネスや商品・サービスを創造する人財の育成プログラムを、大学^{※3}と連携し多数用意するなど、一連の当社取組が、① 経営ビジョン・ビジネスモデル、② 戦略、③ 成果と重要な成果指標、④ ガバナンスシステム の4つの観点で評価されました。

※3：東洋大学（ニュースリリース：[東洋大学情報連携学部（INIAD）との提携について](#)）

京都先端科学大学（ニュースリリース：[新たなビジネスモデルを創造する人財を育成するオンライン型研修プログラム「MS&ADデジタルカレッジ from 京都」を開設](#)）

<当社のDX戦略概要>



以上